

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 8 事業名: やまなしのワインと食魅力発信事業

アドバイザー	評価区分	評価内容
五味アドバイザー	「要改善」	<p>ランチは混雑するという説明を受けたが、ランチ客は周囲に勤務する方が多いのではないかと思う。比較的低い価格で質の良いランチを食べることができれば、人気は出ると思う。</p> <p>山梨県産品のブランド化を推進するためにこのレストランが運営されているということであるならば、コストパフォーマンスの良いランチを求める人を大勢集めるということでは、食材に興味をもつ客層を集めることは難しいのではないかと感じた。</p> <p>例えば、1階の店舗から直接2階のレストランに行くことができるような店舗構造であるならば、より山梨県産品のブランド化という意図に沿ってくるのではないだろうかという思いがした。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>アンテナショップと同じビルの2階にレストランを設置しているということで、第2回の会議において担当課からも説明があったが、近年他県において2号店を出す場合もあるということで、その場合は、同じビルの2階に出店することは考えにくいと思う。</p> <p>1階のショップにおいてもイートインスペースがあり、軽食のついた有料のワインの試飲が出来るということから、1階にある富士の国やまなし館との相乗効果を考えるより、別の場所での出店も含めて見直しができるのではないかと検討していただきたい。</p>

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 8 事業名: やまなしのワインと食魅力発信事業

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<p>アンテナショップの本来の目的は、来て体験していただくというだけではなく、それがその後の県産品の購入や県の来訪に繋げるということが目的だと思う。この観点から、情報発信のやり方や、運営面での見直しが必要だという点で要改善とした。</p> <p>改善のポイントは、一つは、価値あるおいしいものを割安で大勢の人に食べてもらう、というのが目的だと思うが、それからすると、ランチはあまりにも安すぎると思う。県産品のブランドを守る、価値を守るという意味でも、適正な値段より少し安いくらいの値段設定が妥当だと考えられるので、ぜひランチの値段については見直しをお願いしたい。また、価格アップをした分は、そのまま利益となってくるので、以前あった県への納付の復活ということも併せて検討していただきたい。</p> <p>2点目は、ランチに比べてディナーの回転が低いという状況であるので、これについての工夫、改善、集客方法についての検討もお願いしたい。</p> <p>3点目は、かなりの方が来店されている訳だが、その来店者への情報発信は、口頭で説明することが中心だとお聞きした。なかなか口頭だけだと伝えきれ部分もあるし、記憶に残らないし、周囲の方へ伝えることも出来ないと思う。食材ストーリー、例えば名前の由来とか関係するイベントとか、そういったものを加えた紙ベースでの発信というものをぜひ考えて工夫していただきたい。</p>